

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社ミットヨ 呉工場

(2) 事業所の所在地

広島県呉市広古新開6丁目8番20号

(3) 業種

精密測定器製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成30年度(2018年)を基準年度とし、令和元年(2019年)から令和12年度(2030年)までとする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（%）

温室効果 ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段:実排出量(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成30年度 (2018)	令和12年度 (2030)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)
エネルギー 起源CO ₂	4,390	2,195 50.0	4,179 4.8	3,714 15.4	3,776 14.0	3,818 13.0	4,263 2.9
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	2023年度は前年度に対しCO2排出量は増加しているが、基準年度に対しては僅かに下回っている。新たに表面処理ラインの増設によりエネルギー使用量が増加した事が要因。						

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

温室効果 ガスの種類	基準年度 原単位 (a)	目標年度 上段：原単位 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段:原単位実績(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費 原単位 (原油換算kl)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	二酸化炭素排出量削減	二酸化炭素排出量を2030年までに2018年度比で50%削減する	・2022年～2026年までにグリーン電力調査・準備期間・2027年1月～グリーン電力導入・2022年～2030年 省エネ活動による前年比1%削減
2	エネルギー使用量削減 (地球温暖化防止)	原油換算エネルギー使用量を生産高原単位で2019年度を基準に2020年度から2024年度までの5年間で10%削減する。	・改善活動に依る生産性の向上、不良数不良率の削減。・身近な省エネ活動の推進(暖房便座カバーは降ろす)・電力監視システムに依るムダの発見と対策実施・エアーリーク調査実施。
3			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量を生産高原単位で2019年度を基準に2020年度から2024年度までの5年間で10%削減する。	・部品納入荷姿改善(通い箱化)に依る包装資材の廃棄物量削減。・改善活動に依る生産性の向上、不良数不良率の削減。
2			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。